

ファイナンシャル・インベストメント		武田 寛	
-------------------	--	------	--

配当年次	2年次	配当学期	1学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	◎	ファイナンシャル・インベストメントに関する専門知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能	○	ファイナンシャル・インベストメントに関する定性的・定量的分析能力を習得する。
	実務技能	○	ファイナンシャル・インベストメントに関する実務的な技能を身につける。
	新規事業技能		
態度	倫理観態度		
	企業変革態度	○	企業経営に関してファイナンシャル・インベストメントの観点から変革する力を身につける。
	地域リーダー態度		
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

ファイナンシャル・インベストメント

※ 2013年度以降入学生が対象です。

授業の概要

さまざまな金融商品のリスク・リターン特性、証券市場の価格決定メカニズムを学んだうえで、ポートフォリオの運営やデリバティブの活用法などについて実例を交えながら学ぶ。具体的には、金融・証券市場、投資の基本概念、債券投資、株式投資、効率的市場と行動ファイナンス、現代ポートフォリオ理論、デリバティブなどについて、実例を通して学び、自ら分析できるようにする。そして、分析手法をケース・スタディに応用して、実践的な分析力を養い、適切な経営判断ができるようにする。

到達目標は以下のとおり。①投資の基本概念を理解し、投資分析ができるようになる、②ポートフォリオ理論を理解し、証券データを使って分析できるようになる、③デリバティブの仕組みと活用法を理解する。

教科書

ブリーリー&マイヤーズ&アレン（著）藤井眞理子・国枝繁樹（監訳）（2014年）『コーポレート・ファイナンス（第10版）上』、『同 下』日経BP社

参考書

- ボディ&マートン&クリートン（著）大前恵一朗（訳）（2011年）『現代ファイナンス論 原著第2版』ピアソン
- 三井住友信託銀行マーケット事業（2013）『第5版 投資家のための金融マーケット予測ハンドブック』NHK出版

授業計画・内容

- ① イントロダクション 【ファイナンス】
- ② 金融市場と金融資産
【市場】【債券】【株式】【派生商品】【機関投資家】
- ③ 投資の基本概念
【現在価値分析】【投資収益率】
- ④ 債券投資分析（1）債券の評価
【最終利回り】【債券価格】【イールド・カーブ】
- ⑤ 債券投資分析（2）債券のリスク
【デュレーション】【金利リスク】【信用リスク】
- ⑥ 株式投資分析（1）普通株式の価値
【株価】【代表的指標】【配当割引モデル】【ゼロ成長モデル】【定率成長モデル】
- ⑦ 株式投資分析（2）普通株式の価値
【利益と投資機会】
- ⑧ 効率的市場と行動ファイナンス（1）
【効率的市場】【アノマリー】【市場の効率性】
- ⑨ 効率的市場と行動ファイナンス（2）
【行動ファイナンス】【裁定取引】
- ⑩ ポートフォリオ理論（1）リスクとリターン
【収益率】【分散】【標準偏差】【分散投資のリスク軽減効果】
- ⑪ ポートフォリオ理論（2）CAPM（資本資産評価モデル）

【資本市場線】 【効率的フロンティア】 【証券市場線】

⑫ ポートフォリオ理論 (3) ケース・スタディ

⑬ デリバティブ (1) オプション

【コール・オプション】 【プット・オプション】 【オプションの価値】

⑭ デリバティブ (2) オプションの価値評価

【二項モデル】 【ブラック＝ショールズ・モデル】

⑮ デリバティブ (3) リアル・オプション

成績評価の方法 クラスへの貢献度 30パーセント
課題の提出 70パーセント
※学生が授業に出席することは前提のため、欠席はマイナス評価となります。

事前・事後学習の内容 日本経済新聞を購読して、ファイナンスの知識を活かし自分の考えを持って批判的に読んでください。
課題をすらすら解けるようになるまで復習してください。

履修上の注意 「ファイナンス」を履修しておくこと。
「ファイナンス」で学んだ知識と分析能力はこの科目の前提となるので、復習しておくこと。

担当者からのメッセージ

キーワード